

人権作文

市内の小中学生が書いた人権作文を紹介します。

【問】市人権同和教育推進室（☎77・8842）

言葉

大和中学校3年

西田 侑杏^{ゆあ}さん

皆さんは誰かに傷つく言葉を言ってしまったこと、言われたことはありませんか。言った側は覚えていないとしても、言われた側は忘れない。でも、忘れることができない言葉があると私は思います。

私には歳の近い弟がいます。今は仲良しだけれども、保育園や小学生の頃はよくけんかをしていた私たちでした。私が小学一年生から二年生だったある日のこと、ささいなことで口げんかをしているとき、弟が私に「血だらけ」という言葉を言ってきたのです。

私はそれ、花粉やホコリのアレルギーもあり、これらのことにより夜眠れなくなることもあります。私以外、アトピー性皮膚炎の家族は誰もいません。当時、見るからにアトピーが目立つ私の腕を見て、弟は「血だらけ」と言ったのでしよう。とても悲しかったし、恥しかったです。弟にはそのときに謝ってもらい、私も「いよ」と許したけれど、本当はとても傷ついていました。それから何年もたつて、中学生になり、人権学習で作文を書くとき、急にそのときのことを思い出しました。そ

のことを尋ねても、弟は「そんなこと言ったっけ」と答えるだけでした。私も忘れようと思ったけど、忘れることはできませんでした。弟にとっては小さなことだけれど、私にとってはとても大きなことです。「血だらけ」という言葉が頭から離れることはありません。でも、弟のことを嫌いになることもできないのです。

いものとなるかもしれない。しかし、今の社会においては、人を傷つける言葉が満ちあふれています。こんな傷つくような言葉は、誰も言わない、誰の耳にも入らない、そんな社会になってほしい、私はそう願います。

【先生からの一言】

人権学習をきっかけに自分のこととして捉え、言葉の重みや大切さについて考えた体験を語ってくれました。まさに「自分ごと」としての気付きが込められ、心に響く人権メッセージとなりました。

広報やながわ

令和7年8月号 No.453

●発行 柳川市 / 〒832-8601 福岡県柳川市本町 87-1
●編集 総務部企画課広報広聴係（直通 ☎0944-77-8425 FAX74-5520
●URL <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/> ●e-mail kouho@city.yanagawa.lg.jp

●発行日 令和7年8月1日
「広報やながわ」は、年齢や障がいの有無などを問わず、できるだけ多くの人が読めるように、ユニバーサルデザインを導入しています。

2025
8
No.453

やながわ

広報



8月下旬から 小学校の給食費が無償化

6月の市議会定例会で一般会計補正予算など全議案が可決・成立しました。これにより、8月下旬から小学校の給食費の無償化を行います。矢留小学校1年のこまつまこさんは「好きな給食のメニューはカレーライスです。いつも給食の時間が楽しみです」と話しました。

今月号の
Pick up

- | | | | |
|-----|----------------|-------|----------|
| 2-3 | 市長の所信表明 | 15 | もちふみデビュー |
| 4-5 | 補正予算 | 16-17 | まちかどレポート |
| 6-7 | 観光動態調査、市政功労者表彰 | 18-24 | お知らせ掲示板 |



市公式 LINE
友だち募集中

